

アグリテックビジネスコンテスト
DEEP VALLEY Agritech Award 2019
応募要項

2019 年 7 月

埼玉県深谷市

1. DEEP VALLEY AGRITECH AWARD 2019 開催趣旨	2
2. 主催者及び事務局	2
3. 対象部門、農業課題例、応募資格	3
3.1. 対象部門	3
3.2. 深谷市の現状認識	3
3.3. 深谷市における農業課題（例）と期待する解決方向性	5
3.4. 応募資格	5
4. 応募期間、応募費用、応募方法、選抜プロセス	6
4.1. 応募期間	6
4.2. 応募費用	6
4.3. 応募方法	6
4.4. 選抜プロセス	6
5. 各賞	7
6. 審査ポイント	8
7. 提案に関する権利関係、その他	9
7.1. 応募に際しての注意事項	9
7.2. 提案に関する権利関係	12

1. ディープ バレー アグリテック アワード DEEP VALLEY Agritech Award 2019 開催趣旨

DEEP VALLEY Agritech Award 2019 は、深谷市が抱える農業課題を解決する技術（アグリテック）を表彰する取組です。受賞者には、深谷市と多様な担い手が連携しながら、実証フィールド提供や出資等を通じて全力で支援し、受賞者が深谷市さらには日本全国の農業課題の解決に向けて展開していけるように支援します。

2. 主催者及び事務局

主催：埼玉県深谷市

事務局

- 名称：DEEP VALLEY Agritech Award 2019 事務局（運営：株式会社マイナビ）
- 連絡先（E-mail）：agri-deepvalley@mynavi.jp（マイナビ）

DEEP VALLEY 推進体制について

DEEP VALLEY Agritech Award 2019 は、農業に関わる多様な企業がつながりあい、自発的な企業の集積が発生しているまちの状態である「アグリテック集積都市 DEEP VALLEY」を実現するための取組として、深谷市の農業課題解決に資する企業・技術を集める取組として位置づけられています。

DEEP VALLEY 実現に向けて産業集積を戦略的に実行するため、下記の農業・商工業各団体や、大学、企業等を **DEEP VALLEY 推進パートナー（※）** として取組めます。

※DEEP VALLEY 推進パートナー：

ふかや農業協同組合、埼玉岡部農業協同組合、花園農業協同組合、
深谷商工会議所、ふかや市商工会、
学校法人智香寺学園 埼玉工業大学、
株式会社トラストバンク、株式会社マイナビ

3. 対象部門、農業課題例、応募資格

3.1. 対象部門

本コンテストでは、下記の対象部門にて募集します。

(1) プロダクト部門

下記の「深谷市の現状認識」から読み取れる課題を設定いただき、「革新性が高く、現状の農業のあり方や、農業生産者の働き方を抜本的に改革し得る技術・製品・サービス」を提案して下さい。

ただし、提案する技術・製品・サービスが、アイデア段階ではなく、試作／実証実験段階や、開発完了段階、製品化完了段階であるものとします。

(2) コンセプト部門

下記の「深谷市の現状認識」から読み取れる課題を設定いただき、「革新性が高く、現状の農業のあり方や、農業生産者の働き方を抜本的に改革し得るアイデア・技術・ビジネスモデル」を提案して下さい。

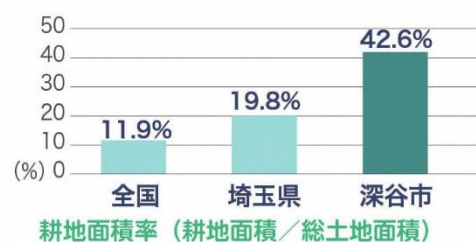
ただし、提案するアイデア・技術・ビジネスモデルの実現に向けた想定スケジュールや、事業実施体制等、次のステップ（試作／実証実験、開発、製品化等）に関する内容も含めて提案して下さい。

3.2. 深谷市の現状認識

深谷市の農業に関する現状認識は下記の通りです。

✓ 豊かな農業

- 深谷市は日照時間が長く、関東を代表する利根川と荒川 2 つの河川によって肥沃な大地にも恵まれている
- 深谷市の面積の約半分は田畑であり、全国的にも耕地面積率が高い（深谷市 42.6%、埼玉県 19.8%、全国 11.9%）
- 農作物としては、全国的に知られる深谷ねぎをはじめ、ブロッコリー（作付面積では全国 1 位）、キュウリ、スイートコーンなどの多種多様な野菜が生産されている他、ユリやチューリップなどの花き栽培も盛んである



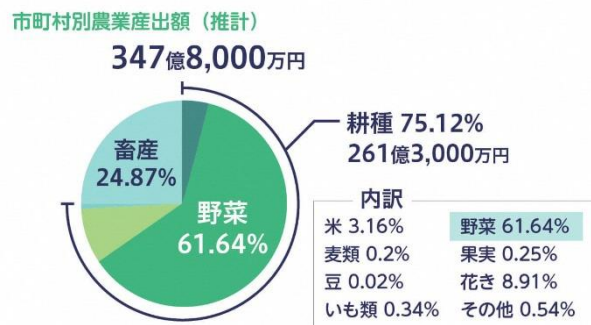
（出典：農林水産省HP 統計情報 わがマチ・わがムラ
埼玉県深谷市の農林水産業の基本指標より）

✓ 総農家数は埼玉県No. 1

- 深谷市の総農家数は埼玉県下では最も多く（4,186 戸、2015 年農林業センサスより）、販売農家も全農家数の 60.9%を占めている

✓ **深谷市は関東の台所**

- 平成29年の深谷市農業産出額は347億8,000万円（推計）であり、そのうち75.12%を耕種（261億3,000万円）が占めている。耕種の内訳では野菜が最も多い（61.64%）



（出典：農林水産省HP 平成29年 埼玉県の市町村別農業産出額（推計）より）

- 首都圏にあるという立地特性を活かし、多種多様な農産物を首都圏に供給し、関東でも有数の農業地域としての地域を確立している

✓ **農家の高齢化の進行に伴う、遊休農地・耕作放棄地の増加**

- 市内工業団地の立地や農業以外の環境整備が進み、社会情勢の変化もあり農業の兼業化が進行し、土地利用型農業を中心として農業の担い手不足が深刻化
- 兼業農業者自身の高齢化が進み、機械更新時や世代交代等を機に農地の貸出希望が増加している一方、農地を引き受ける担い手が不足していることや、新規就農者への貸出に対する心理的抵抗感が壁となっている
- 農業就業人口の高齢化や減少に伴い、農業後継者に継承されない農地や、担い手に集積されない農地において一部遊休化した農地が近年増加傾向にある
- 遊休農地を放置すれば、利用が遅れるばかりでなく、周辺農地の耕作にも大きな支障を及ぼすおそれがある

✓ **後継者不足となる背景に関する原因仮説**

- 子が後を継がない原因・背景として、「農業はきつい」「農業は稼げない」「休みがない」というイメージが抱かれている
- 親が継がせない理由として「自然相手なので収入の不安定さ」がある
- 新規就農が難しい理由として、「初期投資」「技術やノウハウの伝承」「地域社会からの信頼」の壁がある

3.3. 深谷市における農業課題（例）と期待する解決方向性

- ✓ 深谷市における農業課題例を下記に紹介します。募集提案については各応募者において課題を自由に設定して下さい。
 - 夏場の除草作業は単調で労働時間が長く、人手不足が恒常的に発生
 - 1軒あたりの耕作面積が小さく、集約化しにくく大規模化による効率化が図りにくい
 - 耕作面積が小さいため、無人ヘリ等による農薬散布が困難
 - 収穫物の運搬や荷下ろし、箱詰め、市場への搬入等に労力と人手が必要
 - 収量や品質にばらつきがあり、均一な管理が困難
 - 栽培・収穫工程が天候等の状況に左右されやすい
 - 短期間で収穫できる農産物は販売価格変動が大きい
 - 農作物は収穫タイミングが遅れると市場で売れなくなる
 - 畜産農家は飼育や衛生管理等で休みがない
 - 選定や病害虫の検出手作業に頼る
 - 農業の新たな担い手不足
 - 高齢化により、用水路や農道の補修・清掃等の地域での管理が体力的に厳しい
 - 冬場の強風（空っ風）と乾燥により、巻き上がる砂埃による風害が著しい
 - 牛舎・豚舎・堆肥を畑に撒く際の悪臭苦情が発生している、等
- ✓ 深谷市は「儲かる農業」の実現を目指し、下記に例として提示するような課題解決の方向性を募集します。
 - 農業生産者の手間や時間を省く技術・製品・サービス
 - 農作物の「収量」が増える技術・製品・サービス
 - 農作物の「品質」を高める技術・製品・サービス
 - 高齢者や若者等が容易に取り組める農業を実現するための技術・製品・サービス
 - その他、日本全国に展開可能な、農業課題を解決する革新的な技術・製品・サービス

3.4. 応募資格

応募資格については、下記のいずれかの条件を満たす者とします。

（１）プロダクト部門での受賞後に、深谷市の農業課題の解決や改善に向けた取組を実施できる個人・法人の方（応募者の所在地については深谷市内外を問いません）。

（２）コンセプト部門での受賞後に、深谷市及び開催パートナー等と連携した取組を実施できる個人・法人の方（応募者の所在地については深谷市内外を問いません）。

4. 応募期間、応募費用、応募方法、選抜プロセス

4.1. 応募期間

2019年7月16日（火）～2019年8月31日（土）

4.2. 応募費用

応募費用は無料です。ただし2次審査への参加に伴う交通費等は応募者の負担となります。

2次審査に通過し最終審査にて公開プレゼンテーションを実施する応募者の交通費・宿泊費については、応募者の所在地が深谷市から片道150kmを超える場合は、応募者1件あたり5万円を上限として補助します。

4.3. 応募方法

所定の事業提案書の様式に、日本語で入力いただいた上で、下記ウェブサイトを設置する事業提案書応募フォームから応募してください（7月16日公開予定）

➤ https://agri.mynavi.jp/deepvalley_agritechaward/

4.4. 選抜プロセス

書類審査による一次選抜、プレゼン審査・面談による二次選抜を行います。これらを通過したご提案による最終選抜では、公開での審査により最優秀賞及び各賞を選定いたします。

- ・ 応募受付 7月16日（火）～8月31日（土）
- ・ 一次審査（書類審査） 9月上旬
- ・ 一次審査通過者へのメール通知 9月9日（月）～9月13日（金）
- ・ 二次審査（プレゼン審査、面談） 9月21日（土）、9月22日（日）いずれかの日程
会場：東京都内

※ 審査の過程において、必要に応じて提案製品の現地審査・見学等を実施する場合あり

- ・ 二次審査通過者の公表 9月下旬
- ・ 最終審査（公開プレゼン） 10月31日（木）会場：埼玉グランドホテル深谷
- ・ 事業化に向けた支援検討開始 12月～

※応募状況等によっては、スケジュールを変更する可能性があります。最新スケジュールは、ホームページ上でお知らせします。

5. 各賞

賞金（出資金）総額 総額 1,000 万円

出資金額については、出資可否を含めた受賞者との協議の上決定します。

最優秀賞（プロダクト部門） 1 件

プロダクト部門の提案のうち、最も優れた提案を、審査により決定します。

対象者には、出資金優先交渉権、及び深谷市内での実証実験の実行支援を提供します。

審査の結果、該当なしとなる場合もございますのでご了承ください。

最優秀賞（コンセプト部門） 1 件

コンセプト部門の提案のうち、最も優れた提案を、審査により決定します。

対象者には、提案内容の製品化に向けた実行支援や、協賛企業による支援、また提案内容の実現性等により出資金優先交渉権の提供も検討します。

審査の結果、該当なしとなる場合もございますのでご了承ください。

協賛企業賞

プロダクト部門、コンセプト部門の提案のうち、協賛企業により決定します。

協賛企業賞の副賞については、協賛企業が確定した後に、ホームページ上にてお知らせします。

協賛企業の募集の都合上、協賛企業賞を本年度は実施しない場合もございますのでご了承下さい。

6. 審査ポイント

プロダクト部門とコンセプト部門に共通した審査項目とポイントは下記の通りです。

審査項目	審査ポイント
事業性	<ul style="list-style-type: none">✓ 事業として持続可能であること✓ 将来的に十分な収益が見込める内容であること
革新性	<ul style="list-style-type: none">✓ これまでの農業では実現されなかった新しい発想（もしくは、非農業分野では実現されている発想）に基づいた、深谷市の農業・農家の課題を解決するプロダクトやコンセプトであること
社会発展性	<ul style="list-style-type: none">✓ 深谷市における農業課題を解決し、「儲かる農業」の実現に寄与することが期待されること✓ 将来的に、日本や世界が抱える農業課題の解決に寄与し、波及効果が期待されること

7. 提案に関する権利関係、その他

7.1. 応募に際しての注意事項

本コンテストへの応募に際しては、以下の項目についてあらかじめ同意の上、お申込みください。

1. 募集対象者について

- ① 学生、大学院生（修士、博士課程に在学）、個人による応募の他、グループでの応募も可能です。未成年の方は、成年の方とのグループでの参加をお願いします。
- ② 自らビジネスプランを作成し、当該事業を実行する意志を持たない者によるご応募は不可とさせていただきます。
- ③ 反社会的勢力である者、反社会的勢力との間に過去・現在又は直接・間接を問わず、取引、金銭の支払い、便宜の供与その他一切の関係又は交流がある者、また、反社会的勢力に属する者又は反社会的勢力との交流を持っている者が役員に選任され、従業員として雇用され又は経営に関与している事実がある者は、応募することができません。
- ④ 審査結果については、各審査段階終了後に E-Mail で応募者に連絡します。落選理由など、審査結果に関する個別のお問合せには応じられませんので、予めご了承ください。審査後に法令違反等が発覚した場合は、審査結果を取り消す場合があります。
- ⑤ 書面審査、2 次審査の時に主催者からの内容確認、質疑、追加情報提供等に応じていただくことがあります。
- ⑥ 審査の過程において、製品の確認（デモンストレーション実施等）を実施させていただく場合があります。
- ⑦ 上記に関わらず、主催者が不適切と認めた応募者については、主催者の判断により応募資格取り消しとさせていただきます。

2. 表彰事業者について

応募内容について、展示や公表等に関する権利は主催者が優先保持します。

3. DEEP VALLEY Agritech Award 2019 における個人情報の取り扱いについて

深谷市は、「DEEP VALLEY Agritech Award 2019」（以下、「本プロジェクト」といいます）において応募者から任意に頂戴する個人情報の管理に細心の注意を払い、これを適正に取り扱います。また、ご本人の同意に基づいて提出される個人情報は、深谷市の定める深谷市個人情報保護条例及び同条例施行規則に則って管理されます。

■ 個人情報

個人情報とは、ご本人に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、住所その他の記述等により個人を識別することができるものをいいます。

また、その情報のみでは個人を識別できない場合でも、他の情報と容易に照合することができ、それにより結果的に個人を識別することができるものも個人情報に含まれます。

■ 応募者

応募者とは、本プロジェクトの個人情報の取り扱い規定に同意頂いた上で、本プロジェクトのエントリーページより応募頂いた個人のことをいいます。

■ 個人情報の利用目的

深谷市は、本プロジェクトのエントリーページにご入力いただいた個人情報を、以下の目的の範囲内で利用いたします。

- (1) 本プロジェクトの選考・事業管理、円滑な運営。
- (2) 深谷市から委託を受けた株式会社マイナビの運営する本プロジェクト運営事務局からのメール配信、アンケートの配信。
- (3) 本プロジェクトに関するご意見、お問い合わせへの回答。
- (4) 本プロジェクトとそれに付随する深谷市からのメール配信等。

■ 個人情報の第三者への開示

応募者の個人情報について、利用目的に定めている場合を除き第三者に開示することは、原則いたしません。提供先・提供情報内容を特定したうえで、応募者の同意を得た場合に限り開示します。

ただし関係法令に反しない範囲で、応募者の同意なく応募者の個人情報を開示することがあります。

■ 第三者の範囲

以下の場合に個人情報の提供を受ける者は、第三者には該当しないものとします。

- (1) 利用目的の達成に必要な範囲内において、深谷市が個人情報の取り扱いの全部または一部を委託する場合。

■ 個人情報ご提供の任意性について

本プロジェクトにおける個人情報の提供は任意ですが、情報を提供いただけない応募者については、利用目的に挙げた業務のうち選考、メール配信、アンケートの配信、ご意見・お問い合わせへの回答ができない場合があります。

■ 個人情報の開示及びお問い合わせについて

本件でご提供いただいた個人情報の開示に関する事項や修正、お問い合わせ等につきましては下記へご連絡ください。

本プロジェクト運営事務局

株式会社マイナビ 農業活性事業部

電話：03-6667-1181

E-MAIL:agri-deepvalley@mynavi.jp

4. 提出書類について

- ① 提出書類は日本語で記入してください。
- ② 締切日時を経過しての応募申請は、如何なる理由でも受け付けできません。
- ③ 応募書類に空欄などの不備がある場合は、審査の対象となりません。
- ④ 本応募要項に示された様式以外での応募は、認められません。
- ⑤ 応募後の書類等の変更・差し替えは原則として認められません。
- ⑥ 最終審査・表彰式は一般公開で行います。お申込み内容などについて、ノウハウや営業上の秘密事項、特許事項などについては、法的保護を行うなど申込み者の責任で対応することとし、主催者側での法的保護は行いません。公表しても差し支えない範囲で応募してください。
- ⑦ ご提出いただいた応募提案書等は返却しません。
- ⑧ なお、提出書類の記載内容が、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他の日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっているものが含まれている場合、当該権利を使用した結果として生じる責任は、応募者が負うこととします。

7.2. 提案に関する権利関係

1. 応募された提案に関する知的財産権

- ① 応募された提案に関する著作権その他の知的財産権は応募者に帰属します。
- ② 応募された提案は、第三者の著作権その他知的財産権を侵害していないものに限り、万が一、応募提案が第三者の権利を侵害している場合又は侵害するおそれがあると主催者が判断した場合（応募後に侵害となった場合を含みます）、受賞発表後でも受賞を取り消すことがあります。
- ③ なお、提出書類の記載内容が、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他の日本国の法令に基づいて保護される第三者の権利の対象となっているものが含まれている場合、当該権利を使用した結果として生じる責任は、応募者が負うこととします。

2. 受賞後の経過報告

- ① 受賞者には、受賞後の経過について深谷市産業振興／農業関連イベント等にて報告していただくことで、継続して取組を周知できる機会を提供いたします。また、受賞後の活動実績についても報告を求めることがあります。